

一般社団法人 文教施設協会
令和6年度 優良学校施設表彰 選考講評

はじめに

今日、DX、国際化、少子高齢化、子どもの多様化等、社会が大きく変化する中、学校教育の変革が課題とされ、学校施設の改革が求められています。文部科学省は、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について、令和4年3月に調査研究報告書をまとめ、[学び]：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために、DXを生かした柔軟で創造的な学習空間、[生活]：健康的かつ居心地よい学習・生活の場としての豊かな空間、[共創]：地域と学校が連携することで学びを広げ、生涯学び続けられる場、[安全]：安全・安心に学ぶことができ、災害に対し地域の安全を支える施設、[環境]：環境配慮や脱炭素化のための木材の活用等、持続可能な社会に寄与する施設、という5つのキーワードのもと、目標と課題を示しました。その実現を目指して学校施設整備の取り組みが進められ、学校設置者や設計者等、関係者の努力により各地で好事例が生み出されつつあります。

優良学校施設表彰は一般社団法人文教施設協会の自主事業として実施するもので、優れた学校施設を顕彰し、授賞作品を通じてその意義や効果、実現可能性を広く伝えることを目的としています。

選考は、建築、教育にわたる多様な専門分野の委員から成る選考委員会を設置し、総合的な観点から議論を進めました。なお、公正を期すため、応募作品に何らかの形で関与した委員は評価をしないこととしています。

1. 選考経緯

選考は次のスケジュールで進められました。

令和6年 8月 1日 公募開始

9月30日 選考資料提出締め切り(応募総数 20 作品)

11月25日 1次選考委員会開催

各作品について、応募資料をもとに選考基準に即して各委員が意見や評価を述べ合いました。その結果、2次選考の対象として13作品を選定しました。

12月23日 2次選考委員会開催

1次選考で選定された13作品について、ヒアリング審査として応募者からプレゼンテーションを受け、質疑応答を行いました。

その後、選考委員会にて、各作品の計画・設計、環境及び地域などの特長や課題、実現プロセス等について意見交換を重ね、理解を深めながら選考に向けた議論を行いました。長時間に及ぶ審議の結果、授賞作品として、次の通り、会長賞（最優秀賞）3、協会賞（優秀賞）2、部門賞8を、全会一致で決定しました。

2. 総 評

今回の応募総数は20作品でした。学校種別で見ると、幼稚園1、小学校8、中学校3、高等学校1、幼小併設校1、小中一貫校1、義務教育学校1、中高一貫校1、中等教育学校2、各種学校1で多種別の応募でした。地域別では、岩手県1、宮城県1、茨城県1、埼玉県1、東京都8、千葉県4、神奈川県1、福井県1、兵庫県1、福岡県1で首都圏の応募が多くありました。また、設置者別では、公立が15、私立からも5つの応募がありました。

応募作品はいずれも新しい時代の学校施設づくりに対して提案性のある計画・設計となっており、授賞作

品を選定するのは困難を伴う作業でしたが、多角的に議論を重ねた結果、各賞の趣旨に照らし高評価を得た作品が、次の通り全会一致で選定されました。

【授賞作品】

文教施設協会会長賞（最優秀賞）

- ・カリタス幼稚園（神奈川県）
- ・嘉麻市立稲築東義務教育学校（福岡県）
- ・ドルトン東京学園中等部・高等部（東京都）

文教施設協会賞（優秀賞）

- ・豊島区立池袋第一小学校
- ・府中市立府中第一中学校

部門賞「新しい教育環境」

- ・習志野市立谷津小学校
- ・江東区立第二大島中学校
- ・ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン

部門賞「地域社会の中の学校」

- ・府中市立府中第八小学校

部門賞「環境を考慮した学校」

- ・昭和学院小学校 ウエスト館
- ・丹波市立山南中学校

部門賞「新しい教育体系を考慮した学校」

- ・宮城県大河原産業高等学校

部門賞「既存施設を活用した新たな教育環境」

- ・流通経済大学附属柏中学校

なお、1次、2次選考を通じて惜しくも選外となった作品も、本賞の趣旨に照らしてそれぞれ見どころがあり、授賞作品に劣らぬ評価を得たことを申し添えます。

最後に、新しい学校づくりにかけた関係者の皆様の創意と熱意に対して、審査員一同、深く敬意と感謝を表します。

3. 講評

文教施設協会会長賞（最優秀賞）

- ・カリタス幼稚園（神奈川県）

設置者：学校法人カリタス学園

設 計：株式会社 SOU 建築設計室

幼稚園棟と預かり保育・未就園児保育室等の棟が、園庭を囲んで半屋外の回廊により結ばれ、内外が連続する空間配置となっている。幼稚園棟は保育室、ワークスペースが独立性を保ちながら、中庭を囲む楕円形のオープンスペースでつながり、図書室・ホール・音楽室・チャペル・階段等、それぞれ特色ある空間が結ばれ、先生の視野の中で安心して活動できる。多様な家具とともに、子供たちが場所を自由に選びながら主体的に活動を展開するモンテッソーリ教育に相応しい空間計画となっている。また、床面での活動に対して、ダクトレス方式の床吹き出し空調が快適さと省エネルギーを両立させている。曲線を生かした優しい雰囲気、小学校と共用の森が、幼児の成長する

場としての自由さを感じさせる。

総合的に評価でき、会長賞（優秀賞）に相応しい施設である。

・**嘉麻市立稲築東義務教育学校**（福岡県）

設置者：嘉麻市

設 計：株式会社久米設計九州支社

ローコスト化、短工期という厳しい条件の中、「まちづくりは人づくり」という目標を掲げ、建物をコンパクトに配置しながら、中央に3層吹き抜けのダイナミックな空間を設け、内装木質化により豊かな学校環境空間を実現している。義務教育学校として4・3・2という学年段階のまとまりを確保した上、1、3階に吹き抜けのホールを囲み一体感のあるように普通教室を配置し、1階は全校の児童生徒の出会いや交流の場として様々な居場所、集まり場所があるホール、2階はメディアコモンズと特別教室から成る断面構成で、多様な学びと学年間のつながりを生み出すとともに、体育館を含めた移動空間としている。2クラス構成の各学年ユニットは吹き抜けホールを囲む形で、南、東、北向きに配置され、視覚的につながっており、また吹き抜けを介してアクティブな陽光を感じ、通風を生み出している

総合的に高く評価でき、会長賞（最優秀賞）に相応しい施設である。

・**ドルトン東京学園中等部・高等部**（東京都）

設置者：学校法人河合塾学園

設 計：株式会社松田平田設計

ドルトンプランにより学びの探究心と交流・協働する力を育てるという建学の目標を実現する施設の実現を目指して、教育者と設計者が未来思考で議論を重ね、さらに毎年成長変化し続ける学校づくりが行われている。教室の形状、教室まわりの空間構成と教科教室型運営、学校全体の2核をなし、学びと生活の中心となるラーニングコモンズ、実験・実習・創作に自主的、創造的に取り組めるSTEAM棟など、新たな教育空間が生み出されている。全体は前庭に視線が開けるギャラリーと呼ぶ軸線で結ばれ、カフェテリアや講堂を含め、様々な居場所、活動場所が用意されている。井水・地中熱・太陽熱等の自然エネルギー利用、躯体蓄熱放射、ダブルスキン、サーカディアン照明等の設備、空間の特性に応じた構造形式や断面構成等、教育と施設を総合的に捉える姿勢が外観デザインにも表れている。

総合的に高く評価でき、会長賞（最優秀賞）に相応しい施設である。

文教施設協会賞（優秀賞）

・**豊島区立池袋第一小学校**（東京都）

設置者：豊島区長

設 計：株式会社石本建築事務所

区が目指す「緑を生かしたウオーカブルなまちづくり」に基づき、森の中の学校をテーマに、階段状のテラスに植栽を配して「緑の丘」を生み出し、広場と一体にすることで裏的な雰囲気になりがちな北面を地域景観の向上に生かしている。運動場面積を確保するため、校舎と体育館を一体とした平面形としつつ、中央の吹き抜けにより採光や自然換気を確保し、また、教室は各階に2学年ずつ廊下で一列に並べているが、中央に多目的スペースを設け、学習情報センターを中心に特別教室を配することで、各学年の中に通過動線がないようにしている。吹き抜けや木材の活用により、コンパクトでありながらゆとりを感じさせる。

総合的に評価でき、協会賞（優秀賞）に相応しい施設である。

・府中市立府中第一中学校（東京都）

設置者（管理機関）：府中市教育委員会

設 計：株式会社久米設計

校舎棟と体育館の間は昇降口へのアプローチとして屋根付きの半屋外玄関ホールとなっており、災害時利用も意識した空間となっている。校舎棟は、昇降口の天井に温かみのある多摩産材ヒノキを利用しており、その昇降口に接する1・2階一体となった階段空間の「かしの樹ホール」が多様な活動の中心的スペースとなっている。また、4つの普通教室を一つのまとまりとしているが教室前にはカウンタースペースを設け、3面の壁を活用できる教室にするなど多様な学習も可能な計画となっている。

総合的に評価でき、協会賞（優秀賞）に相応しい施設である。

部門賞 「新しい教育環境」

・習志野市立谷津小学校（千葉県）

設置者：習志野市長

設 計：株式会社佐藤総合計画

1学年5クラスを2、3クラスに分けて帰属感や教師の協働がしやすいようにし、他ユニットを通過しない移動動線を確保している点が評価できる。

大規模学校であるが、学びの継続を含めてよく考えられ、音楽堂等、特色ある空間として工夫されている事も評価できる。

・江東区立第二大島中学校（東京都）

設置者（管理機関）：江東区教育委員会

設 計：株式会社あい設計

ステップアトリウムが空間の豊かさを生み出し、学校全体が一体感のある構成となっている。学年フロアの構成、動線、避難場所となる体育館前のスペースを含め、要所にとられたオープンスペース等、全体のまとまりがよく、複廊下タイプの好事例と言える。また、木材、木加工技術の活用等、様々な木材活用が図られ、豊かな環境を生み出している点も評価できる。

・ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン（岩手県）

設置者：合同会社 H. A. Development

設 計：株式会社大建設計

緑に囲まれた敷地に、低層分棟の校舎と、雁行して連続する寮が緑の庭を挟んで長く配置され、この学校での学びがゆったりした時間の中で進んでいく様子が建物から感じられる。各教室棟は、吹抜けのオープンスペースを囲んで配置され、横断的な主体的学習の場となることもイメージされ、伸びやかな外部空間は、学校建築のイメージを超えた学び舎を生み出しており評価できる。

部門賞 「地域社会の中の学校」

・府中市立府中第八小学校（東京都）

設置者（管理機関）：府中市教育委員会

設 計：株式会社久米設計

校舎棟2階の中央部には、開放的なメディアセンターを配置し、また、学年毎に学習センターを囲み4教室を学年ユニットとし、主体的かつ多様な学習活動に対応した計画となっている。体育館さらには校舎1階の家庭科室、地域コモン、多目的ルーム等の配置は地域コミュニティの拠点となることを主眼とした施設計画となっており、校舎棟と体育館の間は屋根付きとして災害時利用も意識した半屋外スペースとなっているなど地域社会の中の学校として評価できる。

部門賞 「環境を考慮した学校」

・昭和学院小学校ウエスト館（千葉県）

設置者：学校法人昭和学院

設 計：株式会社日建設計

学級数増に対し必要教室数を確保するための教室棟の増築計画である。高さ制限に対し階高を抑えるため CLT 二方向フラットスラブ構法を採用し、それにより CLT の活用方法を示すとともに、木の豊かな空間を実現している。また、子ども参加のワークショップを実施し、木材活用を環境問題や森林問題などの環境教育の教材として生かすなど、学校建築ならではの取り組みがなされている。温熱環境調査、木質化による快適性や省エネ効果などの確認を行うことにより、カーボンニュートラルや SDG s を目指すなど、環境を考慮した学校施設計画として評価できる。

・丹波市立山南中学校（兵庫県）

設置者（管理機関）：丹波市教育委員会

設 計：株式会社教育施設研究所

地域の丹波市産スギ・ヒノキを内装に活用し、温かみのある教育環境を実現するとともに、ダブルルーフや暖気活用などの省エネ手法を取り入れ、日常的に環境意識の向上を促す計画として評価できる。中庭、吹抜けのランチルームを囲む一体感のある空間とし、普通教室や特別教室前には多目的スペースを設け、また PTA/ミーティング室を中心に、体育館・ランチルーム・図書館など、地域利用が想定される諸室を配置するなど、持続可能な地域を支える学校づくりが図られている。檜皮葺き産業の集積地として地元職人の指導による生徒たちの檜皮葺き体験ワークショップが行われ、作品が活用されていることも特筆できる。

部門賞 「新しい教育体系を考慮した学校」

・宮城県大河原産業高等学校（宮城県）

設置者：宮城県

設 計：株式会社梓設計

既存の農林高校と商業高校を統合し、新たにデザイン科を加えた3学科からなる統合新設校。3科連携により6次産業に対する地域人材育成と地域ブランド創出という明確な理念の下、既存施設を含めた総合的な計画となっている。各科の特性を生かした専門教室エリアを積極的に道に面させて地域への発信性を高めるとともに、校舎は2つの中庭を囲む回遊動線に、各教室、図書室、実習室、開放的な生徒ラウンジ、吹抜けエントランスホール等を配置し、異なる学科の生徒達が互いに刺激し合いながら学習・交流を深められるよう計画されており、新しい教育体系により地域振興に貢献する総合的な計画として評価できる。

部門賞 「既存施設を活用した新たな教育環境」

・流通経済大学附属柏中学校（千葉県）

設置者：学校法人日通学園

設 計：清水建設株式会社

新たに中高一貫教育を目指して、離れた位置にあった既存施設を活用しながら、全体に一体感のある空間を生み出している。細長い限られたエリアに図書・メディア棟を配置し、新しい学びを支えるラーニングcommons、図書エリア、アクティブラーニングスタジオなどが3層に重層化し、中高を結ぶオープンな学習空間としており、既存のケヤキ並木に面して大開口部を設け、木材を活用したダイナミックな架構の大屋根や内装による開放的な学びの場が創出されており、既存施設を活用した新しいキャンパス空間を創造していることは評価できる。

以上